

平成31年度 当初予算要求の概要

局・区名

環境局

要求総額

10,066

百万円

(対前年度予算 ▲ -7.2 %)

局区予算要求方針

SDGsの達成に向け、市民・事業者等への普及啓発を行うとともにパートナーシップの強化を図ります。また、エネルギーの地産地消の推進やプラスチックごみの削減等、低炭素、資源循環、自然共生、安全・安心の4つの目標領域においてもSDGsの考え方を活用し、持続可能なまちづくりを推進します。

※ 給料、職員手当、共済費等各局で要求しないものは除く

重点的に取り組むもの

【※ ◎は新規事業、○は拡充事業】

1 SDGs認知度向上に向けた取組

要求額

- ◎ SDGsの普及啓発及びパートナーシップの強化 4百万円

取組内容 SDGsの認知度、理解度向上のため、事業者向けセミナーを開催するなど、SDGsに関する普及啓発を行うとともに、SDGsの達成に向けた機運醸成のため、今年度開始予定のSDGsサポーター制度（仮）の活用により、市民・事業者等の様々なステークホルダーとのパートナーシップの強化を図る。

2 低炭素化と安全・安心に向けた取組

- ◎ エネルギー地産地消の推進 18百万円

取組内容 国庫補助等を活用し、再生可能エネルギーの地産地消による電力自給率の向上や経済的メリットの創出による行政サービスの向上等に資する事業モデルを検討する。また、「太陽光発電と蓄電池の連携機器」を市有施設等に試験導入し、太陽光発電による系統負荷抑制、平時のピークカットによる電気料金の削減や、非常時の避難所における電源確保などの効果を検証する。

- ◎ 燃料電池自動車（FCV）の普及促進 8百万円

取組内容 地球温暖化対策及び水素エネルギー社会の実現に向け燃料電池自動車（FCV）を普及させるため、FCV購入費の一部を補助する。また、公用車の低炭素化・水素エネルギーの利活用の推進及び外部給電機能を活用した災害時の停電対策としてFCVと外部給電器を購入する。

3 ごみ減量化とプラスチックごみ問題への対応

要求額

- ◎ ごみ減量化等に向けた使い捨てプラスチックの削減 5百万円

取組内容 ごみの減量化及びプラスチックごみ問題への対応のため、マイバッグ携帯キャンペーン等を実施し、レジ袋等の使い捨てプラスチック削減について、市民の意識向上を図る。

4 参加・協働による生物多様性の保全に向けた取組

要求額

- 生物多様性保全促進事業 21百万円

取組内容 本市の生物多様性の現状を把握し、参加・協働による取組促進につなげるため、水生生物調査及び堺市レッドリスト・堺市外来種ブラックリストの改訂を実施するとともに、生物多様性Webサイト「堺いきもの情報館」による情報発信や、小学生による生き物調査授業、各種イベントでの啓発活動等を行う。

5 市民の安全・安心の確保

要求額

- 高濃度PCB廃棄物所有者確定調査業務 47百万円

取組内容 PCB特別措置法に基づき、平成32年度末の期限までに処理を完了する必要がある市内の未処理の高濃度PCB使用製品及び高濃度PCB廃棄物を把握し、事業者・個人に処分を促す。

行財政改革の項目

1 歳入の確保

効果額

- 民間事業者との連携による太陽光発電無償一括設置事業 -百万円

取組内容 市有施設の屋根等を一括で太陽光発電設置事業者に貸出し、事業者から目的外使用料を得る。

2 事業の見直し

○ 補助事業の見直し

11 百万円

取組内容 スマートハウス等導入支援事業、スマートファクトリー・スマートオフィス導入支援事業について、事業検証を行い、制度の一部を見直す。